

### カルバメート系農薬の分析 (V)

メチオカルブの代謝化合物に、メチオカルブスルホキシドとメチルカルブスルホンがあります。今回、既報(テクニカルインフォメーション No. 0022)の分析条件に従って、これら2種の農薬の溶出位置の確認を行いました。結果を図-1のクロマトグラムに示します。アルディカルブ(ピークNo. 3)の前後に、メチオカルブスルホキシド(ピークNo. 2)とメチオカルブスルホン(ピークNo. 4)が溶出していることがわかります。また、この条件下ではピリミカルブも溶出(ピークNo. 5)しますがN-ジメチル[(CH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>N-]カルバメート系のため、OPAと反応しにくく他のN-メチル[CH<sub>3</sub>NH-]カルバメート農薬よりも検出感度は劣ります。

図-1は、各農薬250 ng/ml (ppb)を10 μl注入して得られたもので、図-2に数種の農薬の2~100 ng/mlにおける検量線結果を示します。

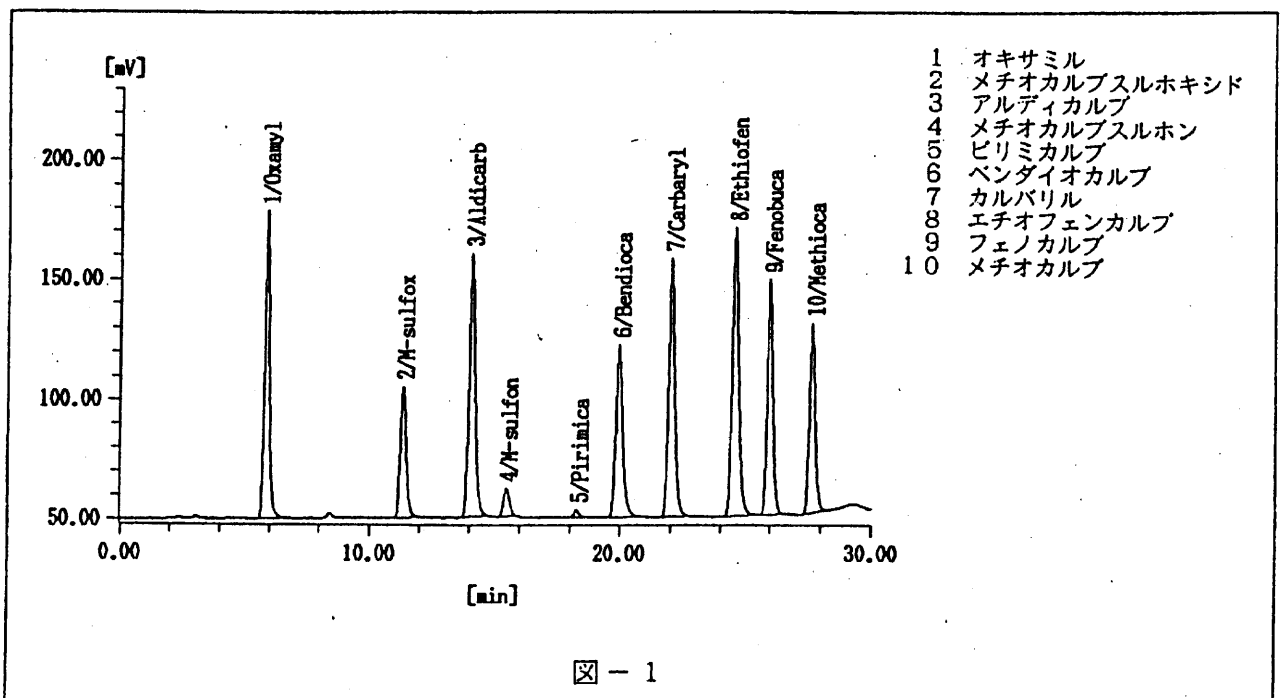


図-1

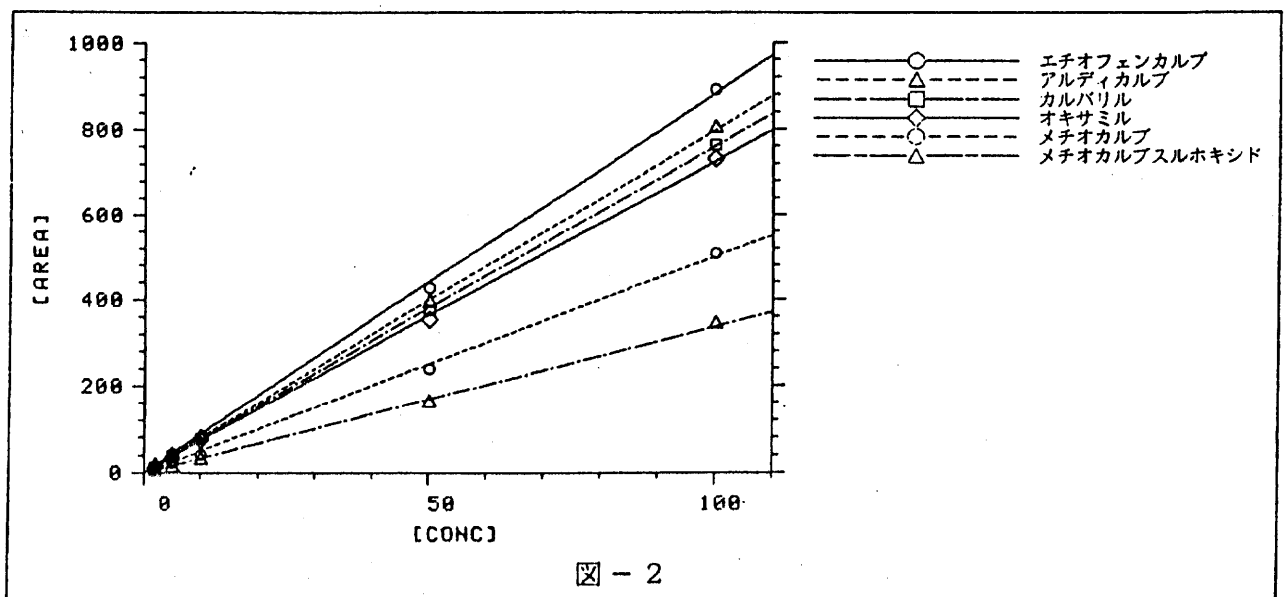


図-2